

IV. 臨床研修の目標・方略・評価

C. 基本的診療業務

コンサルテーションや医療連携が可能な状況下で、以下の各領域において単独で診療ができる。

3. 初期救急対応

<行動目標>

緊急性の高い病態を有する患者の状態や緊急度を速やかに把握・診断し、必要時には応急処置や院内外の専門部門と連携ができる。

<方略>

- ・救急外来での診療において患者の診断を行うため、日頃よりモーニングセミナーへ出席して、各科ごとの救急の初期対応を学ぶ。
- ・また、レジデントブックにて救急外来で必要な診療方法、検査、応急処置、薬剤等を確認しておく。
- ・自分で判断できないことは相談しやすいように、日頃から同僚、先輩、上級医との良好な人間関係を築いておく。